

母の成人期アトピーと乳児の顔面浸出症状に対して親子で治療した母子アトピーの経過 (30歳成人・2か月乳児)

症例 ID：001-30-TY2 | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

母親は24歳頃、手足に虫刺され様の湿疹が出て、抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬などを使用しました。松本医院で約1年余り治療し、薬を使わずに生活できる状態となりました。

出産した娘は生後3週頃から顔に発疹が出て、生後1か月頃には黄色い浸出液と乾燥がみられました。顔にステロイドとワセリンの混合軟膏を短期間使用しましたが、再燃を繰り返しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	母親のステロイド使用は確認できません。乳児は顔面にステロイドとワセリンの混合軟膏を少量使用しました。
製品名	乳児：製品名不明のステロイド・ワセリン混合軟膏。
強度	不明です。
使用期間	乳児期に短期間使用しました。
中止時期	乳児は松本医院再受診前に中止しました。
来院前／後	乳児は来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
平成8年冬	母の発症	母親の手足に湿疹が出ました。
平成9年頃	母の治療開始	松本医院で治療を開始し、症状が徐々に軽減しました。
平成10年3月	母の治療終了	約1年余りで薬を使わずに生活できる状態となり、治療を終了しました。
平成11年1月	出産	娘が出生しました。
生後3週～1か月	乳児の発症	顔面発疹が黄色い浸出液と乾燥を伴う状態へ進みました。
生後1か月頃	一時的外用	ステロイド混合軟膏で一時的に改善しましたが、再燃しました。
生後2か月前	乳児の治療開始	1日2回の薬浴と外用処置を開始しました。
治療約2週間	乳児の改善期	顔面の赤みが大きく減り、皮膚が整い始めました。

4. ピーク時期

ピークは、乳児の顔面に黄色い浸出液と強い乾燥がみられ、触れると泣く状態となった時期です。

5. 困りごと

- ・母親は成人期の湿疹により化粧や外出に不安を感じました。
- ・乳児は顔面の浸出と痛みで日々の処置が必要でした。
- ・親子2人分の薬浴・内服準備が生活上の負担となりました。

6. 経過のまとめ

母親は約1年余りの治療後、薬を使わず生活できる状態となりました。乳児は顔面の浸出症状に対して薬浴と外用処置を開始し、約2週間で赤みが大きく減って皮膚が整い始めました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。